

業 績 調 書

氏 名 ○ ○ ○ ○

- (注1) 用紙はA4版とすること。研究論文及び著書等は年代の古い順から記載すること。以下の各項目に記載してある事項が記入されていれば、業績の記載方法(書式)は問わない。
- (注2) 本調書には、掲載(刊行)済みまたは掲載(刊行)決定済みの業績のみを記載すること。未刊行で掲載決定済みの業績を記載する場合は、その旨を明記し、決定が証明できる書類を添付すること。
- (注3) Iの2. およびIの3. に記載する業績(研究論文)は、いわゆる原著論文に限る。レビュー論文、学会抄録、書評論文等は「4. その他の論文等」に記載すること。

I 研究業績

1. 学位論文

論文名 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○博士/修士又は博士/修士(○○)
(○○大学)
取得年月日

2. 研究論文(A) (査読付き論文)

2-1 [学術雑誌¹]に掲載された査読付き論文]

- 1) (著者名) (題名) (掲載誌) (巻号) (頁○○～○○) (西暦)
2) (著者名) (題名) (掲載誌) (巻号) (頁○○～○○) (西暦)

<候補者氏名にアンダーラインを引くこと。>

2-2 [その他の雑誌等に掲載された査読付き論文]

- 1) (著者名) (題名) (掲載誌) (巻号) (頁○○～○○) (西暦)
2) (著者名) (題名) (掲載誌) (巻号) (頁○○～○○) (西暦)

<候補者氏名にアンダーラインを引くこと。>

3. 研究論文(B) (査読なし論文)

- 1) (著者名) (題名) (掲載誌) (巻号) (頁○○～○○) (西暦)
2) (著者名) (題名) (掲載誌) (巻号) (頁○○～○○) (西暦)

<候補者氏名にアンダーラインを引くこと。>

4. その他の論文等

- 1) (著者名) (題名) (掲載誌) (巻号) (頁○○～○○) (西暦)
2) (著者名) (題名) (掲載誌) (巻号) (頁○○～○○) (西暦)

<候補者氏名にアンダーラインを引くこと。>

¹ 本調書における「学術雑誌」の定義: 日本国内で刊行された雑誌の場合は、日本学術会議協力学術研究団体が主体となって発行する査読誌とし、その他の地域で刊行された雑誌の場合は、インパクトファクター(IF)が概ね2.0以上の査読誌とする。その他の媒体に掲載された論文等は、2-2または3.の項目に記載すること。

5. 著書 (A) (単著：自身が単独で全体を執筆した著書)

- 1) (著者名) (著書名) (出版社) (西暦)
- 2) (著者名) (著書名) (出版社) (西暦)

6. 著書 (B) (共編著：自身が共著者または編者となって出版した著書)

- 1) (著者名/編者名) (共著者/編者の人数) (著書名) (出版社) (西暦)
- 2) (著者名/編者名) (共著者/編者の人数) (著書名) (出版社) (西暦)

7. 著書 (C) (分担執筆：著書の1章または複数の章を担当執筆したA, B以外の書籍)

- 1) (当該章の著者名) (担当章・題目) (編者名) (執筆者の総数) (著書名) (出版社、西暦) (頁〇〇～〇〇)
- 2) (当該章の著者名) (担当章・題目) (編者名) (執筆者の総数) (著書名) (出版社、西暦) (頁〇〇～〇〇)

8. 学会報告 (最近10年間で主なもの)

- 1) (報告者名) (題目) (会議名) (開催都市、西暦)
- 2) (報告者名) (題目) (会議名) (開催都市、西暦)

9. 国内学会や国際会議での基調講演・招待講演 (最近10年間で主なもの)

- 1) (講演者名) (題目) (会議名) (開催都市、西暦)
- 2) (講演者名) (題目) (会議名) (開催都市、西暦)

III 社会的業績

(西暦) 年 月 ～ (西暦) 年 月 (項目)

IV 学会等における活動状況

(西暦) 年 月 ～ (西暦) 年 月 (項目)

V 外部資金取得状況 <代表、分担を区別すること。10年以前のものや学内資金は除外>

- 1) (西暦) 年～ 年 (外部資金源、外部資金名) (題目) (代表・分担の別) (代表者名) (総額²)

以上

² 分担者の場合は、研究期間全体において自身が配分を受けた研究費の総額 (間接経費等を含む)